

## 1. むらづくりの主体

- (1) 名 称 のうじくみあいほうじん 農事組合法人 しただん
- (2) 所 在 地 とやまけんなかにいかわくんとてやままちしただん 富山県中新川郡立山町下段237
- (3) 地区の規模 集落の集合体
- (4) 組織の性格 地縁的な集団
- (5) 代表者の氏名ふりがな(敬称略)、役職  
 氏 名：はやし すずむ 林 進  
 役 職：代表理事

## 2. 地区の概要

総人口	農(林、漁)業 就業人口	総世帯数	総土地面積	耕地	採草放牧地	山林	
148人	35人	47戸	- ha	51 ha	- ha	- ha	
農家戸数	販売農家数	専業農家	第 種兼業農家	第 種兼業農家	主業農家	準主業農家	副業的農家
24戸	24戸	- 戸 ( - %)	- 戸 ( - %)	24戸 (100.0%)	- 戸 ( - %)	24戸 (100.0%)	- 戸 ( - %)
地域指定状況			農業地域類型区分				
農振：昭和46年度 森林：平成18年度 都市計画：有 その他：-			市 町 村		当 該 地 区		
			平地農業地域		平地農業地域		

### 3. むらづくりの内容及び成果

#### (1) 地域の沿革と概要

立山町は富山県の中央部から東南に細長く位置し、東部には3,000m級の立山連峰がそびえ、西北部には一級河川常願寺川の堆積土によって形成された広大な扇状地をもつ、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた町である。早くから整備された農業生産基盤を有効に活用し、稲作を中心とした水田農業が営まれている。

観光スポットとして、5月中旬でも雪の壁の高さが10mを超える「雪の大谷」が見られる立山黒部アルペンルート、350mという日本一の落差を誇り、国の名勝、天然記念物に指定されている称名滝、高さ186m長さ492mの日本最大のアーチ式黒部ダムなどがあり、県内外から大勢の観光客が訪れている。

下段集落は、立山町中心部の東南に位置し、北陸自動車道立山ICから南へ4 km、立山黒部アルペンルートにつながる主要地方道富山・立山・魚津線が通っている。農業生産は水稻、大豆が主要作物であるが、近年、白ネギ、サトイモなども作付されている。



図1 位置図

#### (2) むらづくりの動機、背景

##### ア むらづくりを推進するに至った動機・背景

下段集落では、従来から水路や農道の草刈、用水路の泥上げ、道端の空き缶拾いなどの農地・農業用水等の保全管理を農家が主体となって実施するほか、下段自治振興会を介し非農家の参加を求めるなど、地域住民が一体となったむらづくり活動が定着している。

しかし、近年、他地区から非農家の入居が増え、47戸中11戸が非農家となり、今後も新たに26戸の住宅団地が地区内に計画されていることから、さらに混住化が進むとともに、農業従事者や非農家の高齢化の進行により、保全活動の低下、ゴミの不法投棄の増大などが危惧された。

このため、非農家を交えた集落全体での維持保全活動を今後も継続していく上で、今一度、地域資源について再認識するとともに、農村環境に関心を持ち景観形成のための植栽などに集落住民が参加し、資源や環境の維持管理を進めていくこととなった。

##### イ むらづくりについての合意形成の過程とその内容

地域資源の保全や環境対策などを、地区活動全体の運営主体である下段自治振興会と農業生産や生活基盤を支えてきた(農)shidandanを中心に、下段東部長寿会、下段青壮年親睦会、下段集落女性クラブ、下段集落児童クラブなどの各組織が連携し、混住化が進む地区内の新興住宅地の非農家に対し、用水路や農道等生活基盤の重要性とむらづくりのメリットを説明し、理解を促した。話し合いを幾度も重ね、平成19年4月に集落の全47戸が参加して「緑豊かな里下段推進協議会」を設立し、集落の環境保全の向上を目的に、「農地・水・環境保全向上対策」に取り組むことを決議した。

## ウ 現在に至るまでの経過

設立された「緑豊かな里下段推進協議会」の運営役員は、(農)しただんを中心に、下段自治振興会等から選任されており、非農家からの参画も促し、集落全体での活動につなげている。

むらづくり活動として、「畦畔、農用地、水路、路肩、法面の草刈活動」「用水路、側溝の泥上げ」、「プランターの設置」、「空き缶などのゴミ拾い活動(クリーン大作戦)」、「ふれあい祭り」など、集落の農業生産基盤の整備はもとより、生活環境の改善や地区の活性化に向けた取り組みを行っている。

## (3) むらづくりの推進体制

### ア 当該集団等の組織体制、構成員の状況

#### 推進の中心をなす「(農)しただん」の設立経過

農業の担い手不足や米価の低迷など、農業を取り巻く環境が一層厳しくなる中、集落の農業の維持・発展を願う有志により、平成9年3月に集落営農準備委員会を発足した。何十回もの会合を重ね、県単事業を活用し、格納庫、トラクター、田植機、コンバインを整備し、平成9年12月に水稻の共同作業組織となる「下段営農組合」を設立した。



写真1 水稻乾田直播の播種作業

また、平成13年に集落全体で大豆生産に取り組む「下段集落大豆生産組合」を設立した。平成16年には地区内の水稻及び大豆の効率的な生産体制を築くため、「下段集落大豆生産組合」が実施していた大豆生産を「下段営農組合」が受託することとなった。

その後、集落営農の永続的な発展と経営の安定を進めるため、協業化、法人化に関する検討を開始し、平成17年1月に(農)しただんが設立された。設立と同時に水稻堪水直播栽培を開始し、平成19年からは水稻乾田直播栽培に取り組むなど、コスト削減を図っている。また、経営の安定化を図るために、平成19年には白ネギの栽培、平成20年にはサトイモの栽培を開始し、積極的に複合化に取り組んでいる。

#### 「(農)しただん」の組織体制

(農)しただんは、組合長を中心に総務部、機械部、作業部、女性部で組織され、自治振興会と相互協力してむらづくりを推進している。(農)しただんの主要な構成員7名が、「緑豊かな里下段推進協議会」委員(10名)に選任されており、また構成員全員が環境保全活動に参画している。

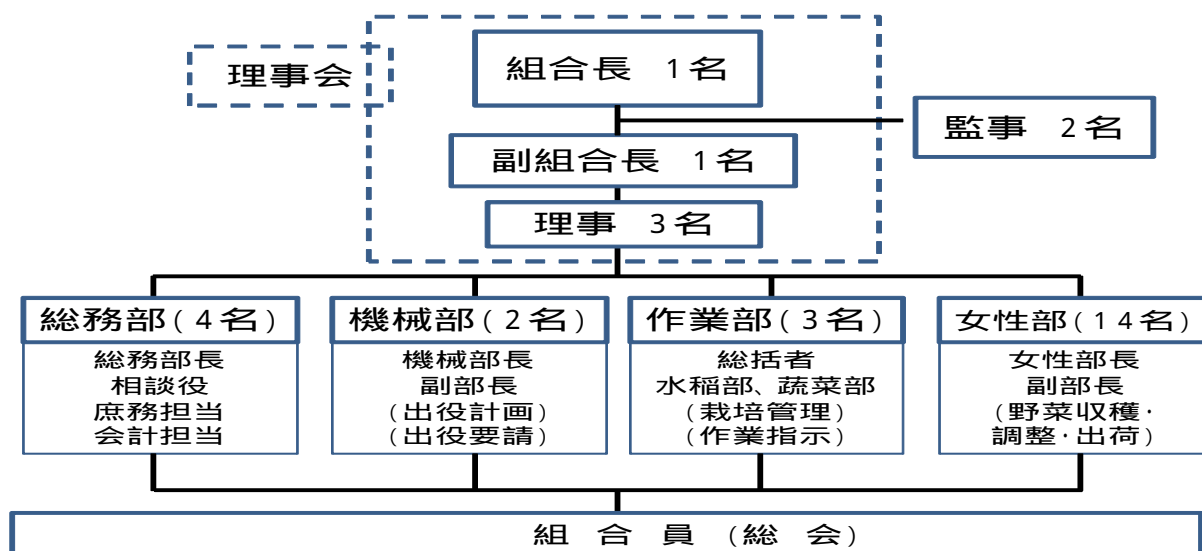


図2 (農)しただんの組織図

## イ 当該集団等と連携してむらづくりを行う他の組織、団体及び行政との関係

### 緑豊かな里下段推進協議会

地域の農地、農業用水などの資源や農村環境の保全と質的向上を図る目的で、「農地・水・環境保全向上対策」に取り組むために、平成19年4月に設立した。構成員には集落の全ての農家、非農家が参加し、(農)しただんの構成員は、主要な役員となって、環境保全活動の提案や実践、主要な実働部隊を担っている。

### 下段自治振興会

地域の資源や環境の現状と改善策について、具体的な取り組みを自治振興会が(農)しただんと協力して実施している。

### 下段集落東部長寿会

60歳以上の高齢者を中心に、(農)しただんの組合員としてほ場管理作業の傍ら、月1回の「いきいきサロン」を開催し交流を深めるとともに、景観形成のための植栽や定期的な清掃活動を他の構成員と連携して実施している。

### 下段青壮年親睦会

(農)しただんのオペレーターが主要な構成員となり、左議長や盆踊りの行事を担うとともに、景観形成のための植栽や定期的な清掃活動を他の構成員と連携して実施している。

### 下段集落女性クラブ

(農)しただんや下段集落東部長寿会などと連携し、健康増進活動、レクリエーション、講話、料理教室などを開催するとともに、景観形成のための植栽や定期的な清掃活動を他の構成員と連携して実施している。

### 下段集落児童クラブ

(農)しただんが中心となり集落で実施する左議長やふれあい祭りの行事に、親子で参加することにより、子供たちへの伝統行事や地域農業、集落環境保全の意識づけにつながっている。

### 下段集落地域づくり協議会

平成13年に設立した同協議会は、農地や用水路などの集落事情に詳しい(農)しただん構成員の意見を基に、集落点検を実施し、ものしり地図の作成、チャレンジ構想地図の作成、手作り環境整備計画の作成・実践、集落誌の作成など、地域の特性に応じた集落づくりと集落の連帯感の高揚を図っている。なお、当協議会の役員のお多くは(農)しただんの構成員である。

### 立山町土地改良区

農道、用排水路の整備・管理を行い、管理面などの指導・助言を行っている。

### 立山町、JAアルプス立山営農センター

事業推進上の助言・指導、特に事業導入時に関係機関との調整などを積極的に行っている。

### 富山農林振興センター

(農)しただんへの農業技術、組織運営などの助言・指導を行っている。

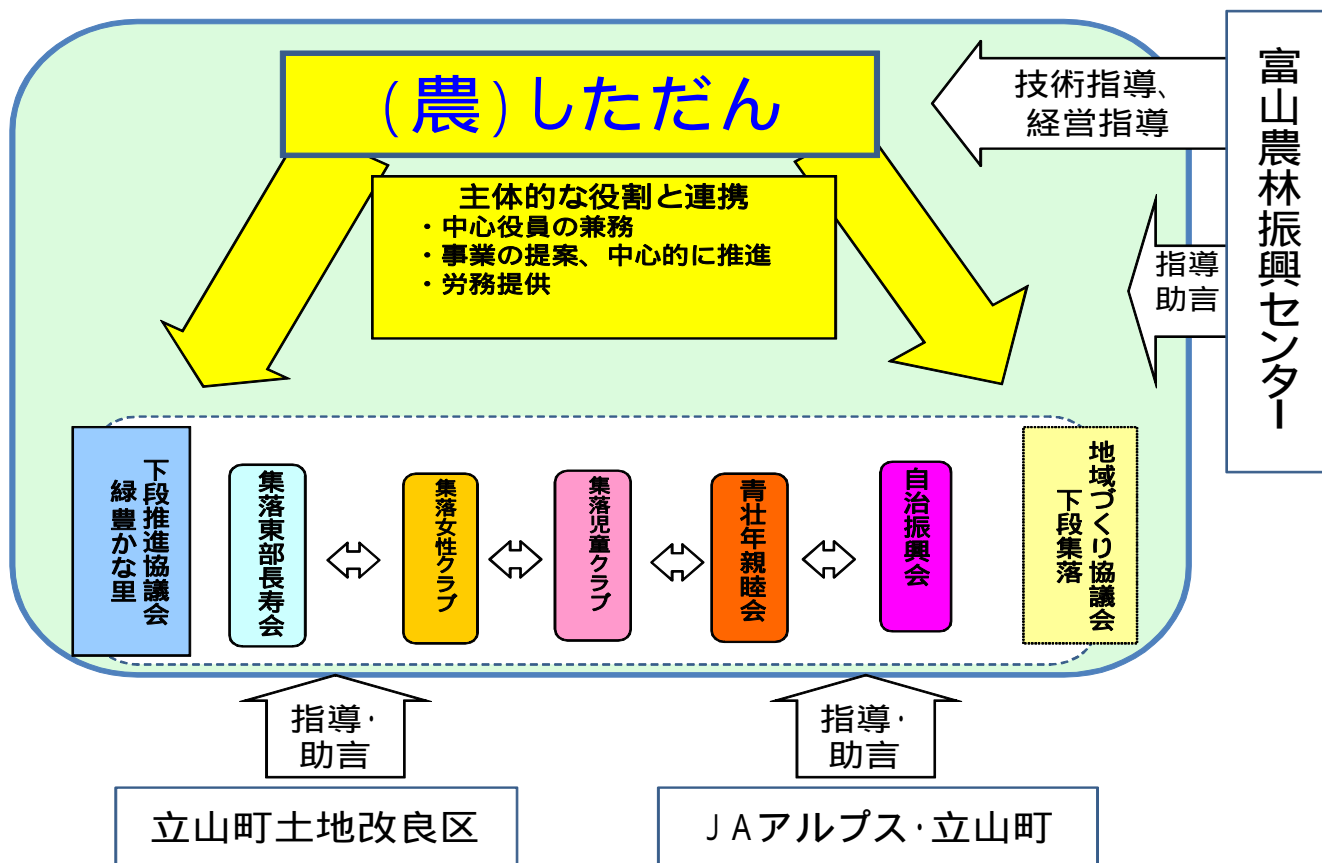


図3 むらづくり推進体制図

#### (4) むらづくりの農業生産面への寄与状況

##### ア 当該集団等の農業生産、流通面の取組み状況

###### 環境に配慮した農業生産

環境に優しい農業生産に配慮し、作物全般に亘って農薬飛散の少ないブームスプレーヤーによる液剤防除を実施している。大豆の作付前には発酵鶏糞を、白ネギ、サトイモには牛糞堆肥を施用し、地力の向上に努めている。

また、非農家も一緒に取組む農村環境保全活動を維持していく上から、(農)しただんで栽培された米等は、集落内の住民にも提供している。

##### イ 当該集団等による生産力の向上、生産の組織化、生産流通基盤の整備等への寄与状況

###### 生産技術の高位平準化

組合長を中心として役員協議の下、大型機械による基幹作業以外の水管理、施肥、防除等について、各構成員への指示を徹底し、生産技術の高位平準化が図られている。

###### 生産コストの低減

近隣の経営体とともに組織する立山南部直播組合に加入し、共同利用の機械を活用して水稻の湛水直播栽培に取り組むとともに、平成19年からは、乾田直播栽培にも取り組み、育苗作業の削減、生産コストの低減を図っている。

##### ウ 当該集団等の活動による構成員等の経営の改善、後継者の育成・確保、女性の経営参画の促進状況

冬場の収入の確保と組織内の女性労働力の有効活用を図るため、3年前から白ネギの栽培を始め、女性部を中心に計画的な収穫・調製・出荷作業を実施するとともに、組織全体の連携強化と女性の所得向上につなげている。

将来的には専従者を置くことを検討し、昨年度からはサトイモ栽培に取り組んでいる。取組に当たっては、下段地区の他の3つの農事組合法人と「下段地区集落営農連絡協議会」を設立し、サトイモ産地の確立を目指して、生産から出荷まで連携を取りながら実施している。



写真2 白ネギ栽培

#### (5) むらづくりの生活・環境整備面への寄与状況

##### ア 当該集団等の生活・環境整備面の取組み状況

様々な環境保全活動については、地域住民47戸から年間で、のべ約389人が参加するなど、全世帯の協力のもとに活動を展開している。

###### 用排水路の管理

(農)しただんが中心となり、毎年春に非農家の住民も全員参加して、用排水路、側溝の泥上げをするとともに、開水路の表面劣化に対するコーティングなどの用排水路の

簡易な補修は自ら実施している。

また、自主防災組織と連携し、河川の水門等の取扱いや消火器使用方法などを地域住民へ指導している。

### クリーン大作戦の実施

構成員全戸が参加して集落内の道路、側溝、法面などの空き缶などのゴミ拾いを実施している。

### 草刈り活動の実施

畦畔、農用地、水路、路肩、法面、神明社境内の草刈活動を実施している。その時活用する草刈機10台が（農）したさんから非農家に貸し出されている。

### プランターの設置

集落内道路や墓地周辺の景観美化のために、（農）したさんの作業場を活用し、組合員の指導のもと、プランターを作成、設置をしている。

### ウォーキングマップの作成

（農）したさんの提案により、総延長1,300mの法面ヘラベンダーを植栽し、「ラベンダー通り」を設置するとともに、集落のウォーキングマップを作成した。



写真3 ラベンダー通り



写真4 ウォーキングマップ

## イ 当該集団等による生活条件の改善・整備、コミュニティ活動の強化、都市住民との交流等への寄与状況

（農）したさんの格納庫を利用し、構成員が中心となって集落住民が参加するふれあい祭りを開催し、農家、非農家間の交流を深め、集落の環境保全意識の高揚にもつなげている。